

菊川市気候変動適応計画【概要】

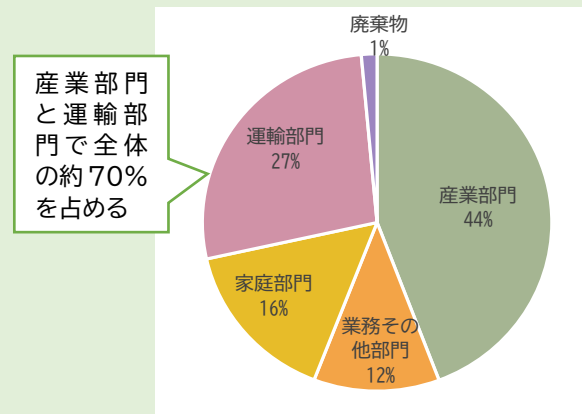
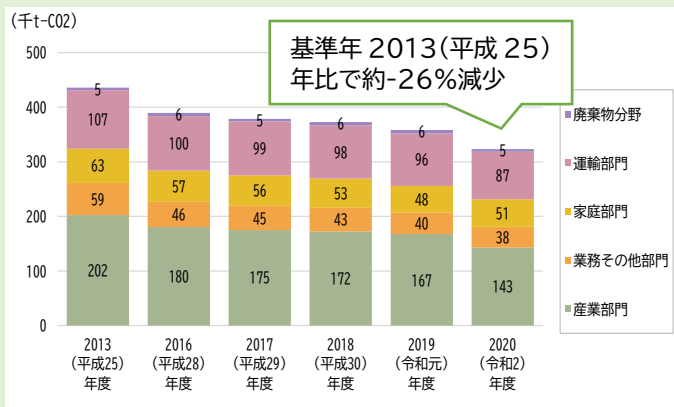
令和6年3月発行

【目標年度:2030(令和12)年度（基準年度:2013(平成25)年度）】

目的

これまでの市の取組みや、市の自然的社会的条件に応じて、近年の地球温暖化対策を巡る国内外の動向に対応し、地球温暖化対策の目標等を掲げる「地球温暖化対策計画」(2016(平成28)年5月13日閣議決定)に即し、温室効果ガスの排出抑制等のための総合的かつ計画的な施策として策定するものです。

本市の最新の温室効果ガス(CO₂)排出量



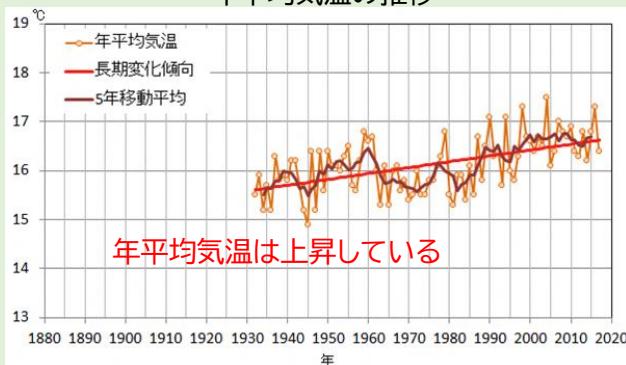
部門別・分野別温室効果ガス(CO₂)排出量の経年変化

(資料:自治体排出量カルテ(環境省))

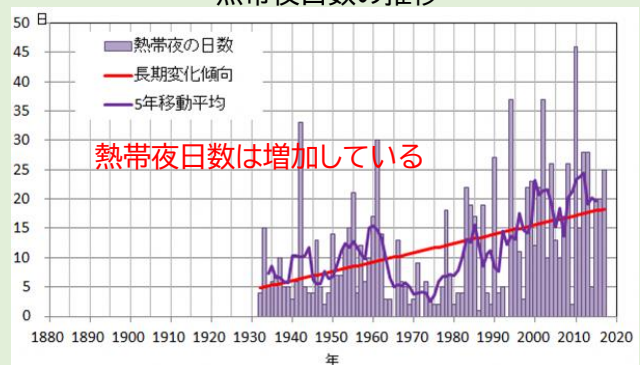
2020(令和2)年度
温室効果ガス排出量構成比
(資料:自治体排出量カルテ(環境省))

本市の気象変動の状況(静岡地方気象台)

年平均気温の推移



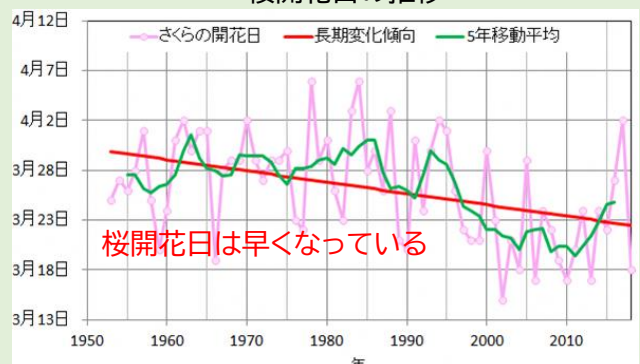
熱帯夜日数の推移



冬日日数の推移



桜開花日の推移



(資料:静岡県の気候特性(静岡地方気象台 HP:
https://www.data.jma.go.jp/shizuoka/shosai/tokusei_cl/tokusei_cl.html))

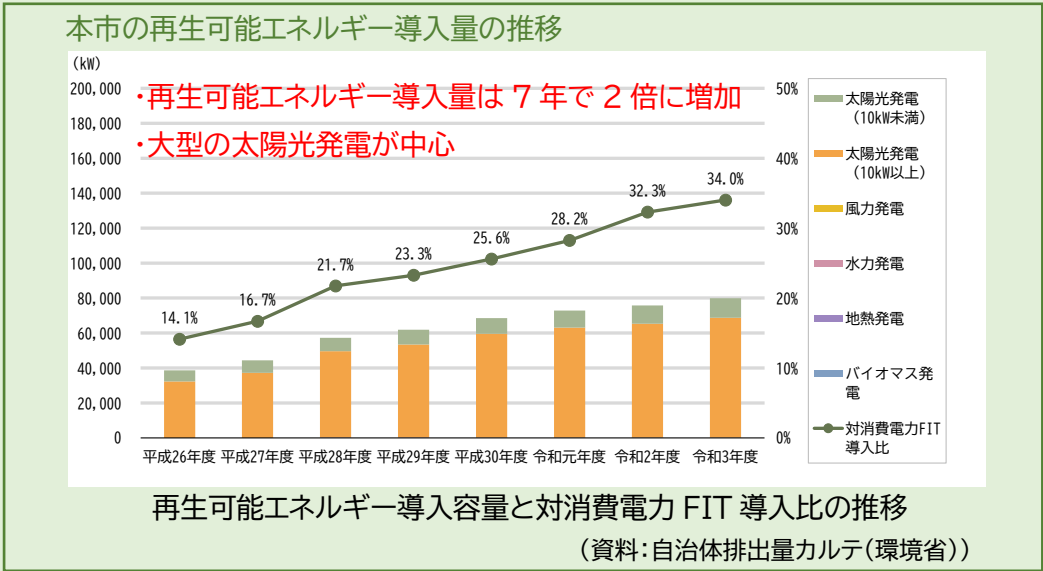
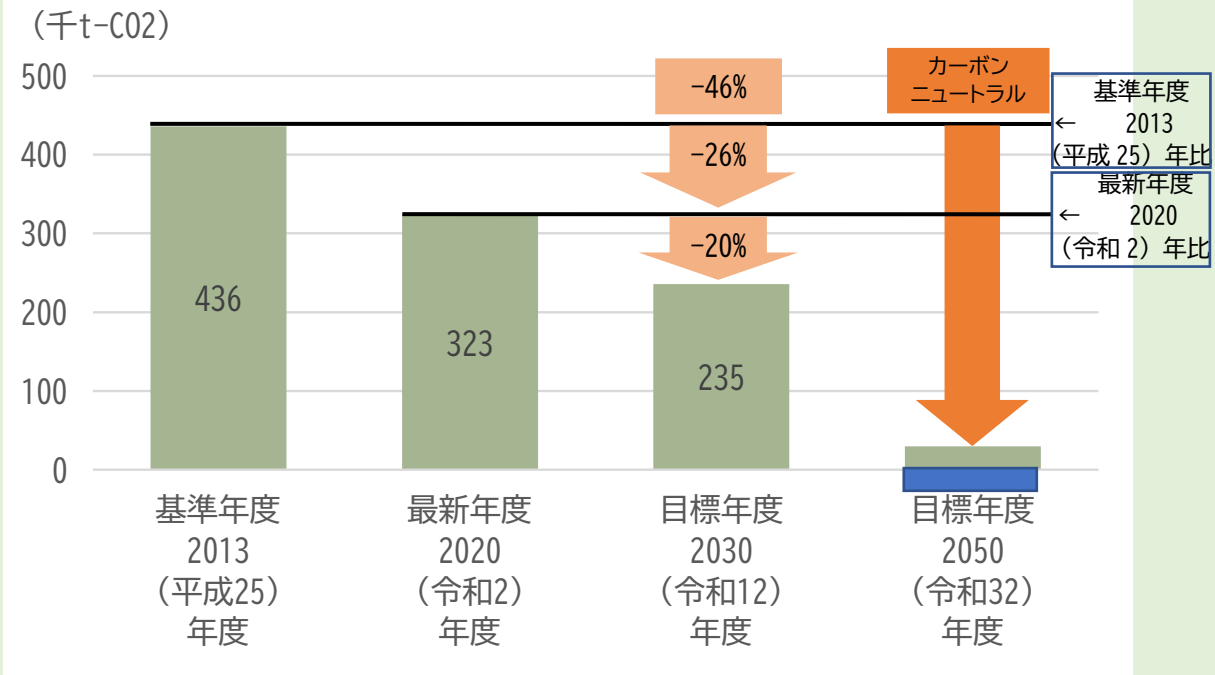
温室効果ガス排出削減目標

2020(令和2)年10月26日、菅首相は所信表明演説において、2050(令和32)年カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量を等しくすることで、実質的な排出量をゼロにすること)、脱炭素社会を目指すことを宣言しました。更に2021(令和3)年4月22日には、2030(令和12)年度の温室効果ガスの削減目標を2013(平成25)年度比46%削減とし、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。

そこで、本市においても国の目標に準拠し、同様の目標を掲げることとします。

(中期目標)
2030(令和12)年度に、基準年度(2013(平成25)年度)比で46%削減することとし、さらなる高みを目指します

(長期目標)
2050(令和32)年度カーボンニュートラル



地球温暖化防止に関する取組(緩和策と適応策)

地球温暖化対策は、大きく分けて緩和と適応に大別され、緩和は地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制することです。これに対し適応はすでに起こりつつある、または起こりうる気候変動の影響に対処することで、気候変動の影響による被害を回避・軽減することです。地球温暖化対策の推進に当たっては、温室効果ガスの排出抑制である緩和とともに気候変動の影響に対する適応を進めていく必要があります。

緩和とは?

原因を少なく

2つの気候変動対策

緩和策の例

- 節電・省エネ
- エコカーの普及
- 再生可能エネルギーの活用
- 森林を増やす

温室効果ガスを減らす

適応とは?

影響に備える

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意
- 熱中症予防
- 災害に備える
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培
- 水利用の工夫

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること(緩和)が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと(適応)が重要です。

緩和と適応

国・県と連携した対策による部門別削減見込量			
部門	対策	内容	削減見込量(千t-CO2)
産業部門			
			59.8
脱炭素経営への転換支援 高効率機器・設備の導入 などの省エネの推進	電力の排出係数低減効果	省エネルギー性能の高い設備・機器等の導入促進	30.1
		業種間連携省エネルギーの取組推進	0.6
		工場のエネルギー管理システム(FEMS)を利用した徹底的なエネルギー管理の実施	1.4
			27.8
業務部門			
			28.7
建築物の省エネ化	脱炭素経営への転換支援 高効率機器・設備の導入 などの省エネの推進	建築物の省エネ化(新築、改修)	7.9
		高効率な省エネルギー機器の普及	4.3
		トップランナー制度等による機器の省エネルギー性能向上	4.8
		ビルのエネルギー管理システム(BEMS)の活用、省エネルギー診断等による徹底的なエネルギー管理の実施	3.3
		上下水道における省エネルギー・再生可能エネルギー導入	0.2
その他の取組			0.1
電力の排出係数低減効果			8.2
家庭部門			
			27.6
ライフスタイルの転換に向けた意識向上	電力の排出係数低減効果	高効率な省エネルギー機器の普及	6.3
		トップランナー制度等による機器の省エネルギー性能向上	2.0
		住宅のエネルギー管理システム(HEMS)・スマートメーター・スマートホームデバイスの導入や省エネルギー情報提供を通じた徹底的なエネルギー管理の実施	2.5
		クールビズ・ウォームビズの実施徹底の促進	0.2
		その他の取組	0.2
住宅の省エネ化			3.9
電力の排出係数低減効果			12.5
運輸部門			
			17.4
自動車の環境負荷低減	地域交通の脱炭素化	次世代自動車の普及、燃費改善等	11.0
		エコドライブ	2.7
		カーシェアリング	0.8
			1.5
			0.1
			0.9
物流における省エネの推進			0.1
電力の排出係数低減効果			0.3
廃棄物部門			5.7
バイオマスプラスチック類の普及等			5.7
			合計 139.2

1) 市民の適応の取組事例	
区分	適応の取組事例
全般	・気候変動適応の重要性に対する関心と理解を深める ・国や地方自治体、企業などが主催する適応策に関するセミナーなどへの参加
水環境	・日頃の節水、雨水利用設備の導入
自然災害	・平常時からハザードマップ・避難経路確認、避難訓練への積極的参加、水・食料・簡易トイレなど備蓄の強化、防災情報取得と災害時の適切な避難 ・大型台風などによる停電に備え、太陽光発電設備の自立運転方法の確認、懐中電灯・電池式ラジオ・電池・カセットコンロなどの備蓄 ・災害に強い住宅の選択・リフォーム、窓・屋外工作物の補強
健康	・こまめな水分補給、塩分補給など熱中症予防対策 ・屋外活動時には国などが発信する熱中症注意情報を確認 ・窓・天井などの断熱性能を向上させた上で、適切な冷房の使用 ・グリーンカーテン・すだれなどによる日射遮蔽、外気温などをふまえた 換気、敷地内の緑化など、住まい方の工夫 ・デング熱などを媒介する蚊の繁殖を抑制するため、虫除けスプレーの使用、蚊が育つ水たまりを作らないこと
2) 事業者の適応の取組事例	
区分	適応の取組事例
自然災害	・災害発生時に備え、海外工場等を含めたBCP(事業継続計画)の策定・雨量監視・定期的な防災訓練の実施
健康	・暑熱環境下の従業員に対する熱中症対策(温度等環境センサー・警報の設置、休憩場所の設置、定期的な休憩・水分補給の徹底など)
経済活動	・事業活動を円滑に実施するため、事業活動の内容に即した適応を推進 ・適応に関する技術・製品・サービスの提供等、新たなビジネス機会開拓 ・気象環境に依存しない自動管理型栽培システムや災害の発生予測・警報システムなどの暑熱対策技術の開発 ・高温耐性品種の育成、遮熱塗装・遮熱材など暑熱対応製品の開発

菊川市独自の取り組み(重点取組事項)

地球温暖化防止のため、本市独自の取り組みを以下の通り展開します。

太陽光発電を設置して電気代を節約しませんか

地球温暖化の原因となる二酸化炭素など、温室効果ガスの発生を抑制することや資源の有効利用を図るため、菊川市では太陽光発電システム、太陽熱温水器等を設置する機会に費用の一部を補助しています。菊川市内において設置を計画している方は、ぜひご利用ください。対象者は菊川市内に自ら居住又は居住を予定する住宅に、太陽光発電システム、太陽熱温水器などを新たに設置しようとする人(市税などの滞納世帯を除く)です。

対象機器	補助金の額	限度額
太陽光発電システム	1kWあたり4,000円	20,000円
※カーポートでの設置可能		
家庭用リチウムイオン蓄電池	1kWhあたり12,000円	60,000円
太陽熱温水器	集熱パネルの面積1m ² あたり2,000円	8,000円
ソーラーシステム	集熱パネルの面積1m ² あたり2,000円	12,000円

【太陽光発電のメリット】
 ・電気代を節約できる
 ・電気代削減効果を確認しやすい
 ・電気代が削減される
 ・蓄電池でも電気を保てる(自立運転、蓄電池)
 ・環境にやさしい

【補助金申請のポイント】
 ・初年度費用が削減
 ・メンテナンスが必要になる可能性が低い
 ・火災に左右されない
 ・設置にやさしい(設置が容易、設置のしやすさ)
 ・設置にやさしい(設置が容易、設置のしやすさ)

2023年度補助金 申請期間になりました

菊川市役所環境推進課

グリーンカーテンで涼しい夏を過ごしましょう

菊川市では温室効果ガス削減、夏の節電対策として、「アサガオ」や「ゴーヤ」などの植物を育ててくれるグリーンカーテンを推奨しています。

はじめよう
グリーンカーテン!

グリーンカーテンには様々な作用や効果があり、ご家庭や学校、職場に涼しさをもたらします。

- ・窓からの日射の侵入を防ぐ
グリーンカーテンには日射の熱エネルギーの80%を防ぐ効果がありません。すだれが50~60%、高性能の遮りガラスでも55%程度でされており、グリーンカーテンの日射を遮る効果は優れています。
- ・建物の周りの表面温度を抑える
夏の暑さは直射日光だけではなく、窓や地面からの放射熱により、室温以上に体感温度が上がることも暑さの原因になっています。グリーンカーテンによって窓や地面に日陰をかけることで、体感温度を下げる効果が期待できます。

グリーンカーテンによって20%~30%の節電効果が期待できます!

出典:中部電力「省エネ効果の検証」

菊川市役所環境推進課

クルポで温暖化対策をしながら景品をゲット!

「クルポ」とは、静岡県地球温暖化防止のための県民運動「はじりく」COOLチャレンジの温暖化対策アプリです。
スマートフォンにアプリをダウンロードして「脱炭素アクション(環境に配慮した行動)」をするとポイントを獲得することができます。30ポイント貯まるごとに県内企業の商品券や食事券、図書カードなどが当たる抽選に参加できます。

日本経済新聞社が主催する「NIKKEI 脱炭素ワード2022」において、クルポの取組がプロジェクト部門で大賞を受賞しました。菊川市もこの取組に参加しており、下記の場所でQRコードを読み込めば、ポイントを獲得できます。

菊川市役所 有形収容ボックス
 菊川図書館
 小笠原書庫
 小笠原図書
 赤まきサイマルステーション
 環境保全センター

菊川市役所環境推進課

古い家電を使い続ける方がもったいない!?

家庭の中で電気をたくさん使っている電化製品は「エアコン」、「冷蔵庫」、「照明」、「テレビ」の4品目で、家庭全体の消費電力の4割~5割になるほどです。

省エネ家電に買い替えると、省エネ効果は10年前のエアコンで-10%、10年前の冷蔵庫で-46%、電球からLEDで-86%、10年前のテレビで-29%になると言われています。

省エネ法では家電等の省エネ基準を定めています。(トップランナー制度)
この基準を達成しているか等の、性能を表示したものが統一省エネレベルです。
省エネ性能が高いほど、初期費用は嵩みますが、電気代等のランニングコストは抑えられます。省エネ家電への買い替えで地球温暖化対策を始めてみませんか?

省エネレベル
省エネ性能
省エネ性能

出典:経済産業省資源エネルギー庁

菊川市役所環境推進課

選ばれる企業になるために「エコアクション21」認証を取得しませんか

菊川市は、菊川市、袋井市と合同で、エコアクション21認証取得セミナーを開催しています。あらゆる主体が環境に配慮した取り組みを行うことが必要であり、事業者の音律にも、省エネルギー、廃棄物の削減等、地球温暖化対策の取り組みを前提とした事業活動が求められています。

エコアクション21(EA21)認証・登録制度とは
 環境マネジメントの国際規格(ISO14001)をベースとして、中小事業者等の環境への取り組みを促進するため、環境省が策定した国内環境マネジメントシステム

【特徴】
 ・中小の事業者でも簡単に取得することができる
 ・認証・登録にかかる経費負担が、ISOに比べて比較的少ない
 ・二酸化炭素削減、廃棄物削減、節水・節電および化学物質使用量の把握
 ・省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクル、節水、化学物質使用量の削減、自らの企業・商品・サービス製造におけるCO2削減に関する取組
 ・光熱費削減などの経費削減、生産性の向上、経費の合理化
 ・労務安全、一般消費者、近隣住民などに対する取組

菊川市は2011年度に初めてエコアクション21に取り組みの認証を取得。その後、削減率を拡大し、2023年度に市内全公共施設で認証を取得する見込みです。2013年度を基準として、2021年度までに温室効果ガス削減率を25%削減しました。今後は2030年度までに46%削減、2050年度までに実質ゼロを目指しています。

出典:国土交通省環境政策課(2023年度)【環境行政情報】

菊川市役所環境推進課

ゼロカーボンシティ実現に向けた新たな組織の立ち上げ

菊川市の自然的、社会的条件に即した地球温暖化対策を推進するため、市庁舎・事業所からなる協議会を立ち上げ、それぞれが連携を交換し、協力関係を築き、菊川市全体の温室効果ガス削減率を令和12(2020)年度4.6%減、令和32(2050)年度実質ゼロにすることを目標として、より具体的な実行力のある取組を協議していきます。

令和5年2月に菊川市は「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

(仮称)菊川市地球温暖化対策推進委員会の発足

菊川市では、令和4年度に公共施設から排出される温室効果ガスの削減計画を定めた「第3次菊川市地球温暖化対策実行計画(第4期事業編)」【中期実行計画】の策定、令和5年度の菊川市域の温室効果ガス削減計画を定めた「菊川市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」【菊川市気候変動適応計画】を策定しました。地球温暖化対策は行政の様々な部門に跨る幅広い課題であるため、市内に新たに地球温暖化対策を推進する専門の委員会を設置し、より具体的な実行力のある取組を行っています。

菊川市役所環境推進課